

昼飯大塚古墳歴史公園へようこそ

昼飯大塚古墳は今から約1600年前に築かれた岐阜県最大の前方後円墳です。その特徴は墳丘の長さが150mにもなることやその構造が三段築成となる点、さらには後円部の頂上に竪穴式石室、粘土槨、木棺直葬という三つの埋葬形態が存在する点にあります。

保存整備では現況の墳丘を修復しながら、後円部の一部に復元ゾーンを設けて葺石や埴輪、周壕を復元しています。



おもな出土品（一部は大垣市歴史民俗資料館にて展示）



玉類



鉄刀

とうくつ 盗掘を受けていた竪穴式石室からは多くの玉などが出土し、木棺 じきそう 直葬には多数の鉄製品が供えられていました。



- 鉄道 JR 美濃赤坂駅から徒歩 25 分
- バス JR 大垣駅南口 1 番のりば名阪近鉄バス「赤坂総合センター」終点下車、徒歩 3 分
- 自動車 名神高速道路大垣インターチェンジから 25 分
東海環状自動車道大垣西インターチェンジから 8 分

古墳データ

古墳の築造年代	4 世紀末（古墳時代中期）
古墳の規模	墳丘長約 150m、後円部径 99m、高さ 13m、 前方部高 9.5m、周壕含む総全長約 180m
出土遺物 （墳丘）	円筒埴輪、形象埴輪（家・蓋・盾・戟・甲冑形）、 勾玉・ガラスなどの玉類、土器・土製品など
（埋葬施設）	①竪穴式石室（北棺）：過去に盗掘を受ける。未調査。 ②粘土槨（南棺）：未調査。 ③木棺直葬（西棺）：棺外から鉄剣・鉄刀、鉄製の工具などが出土。 棺内は未調査。
史跡の指定	平成 12(2000)年 9 月 6 日・（追加指定）平成 26(2014)年 3 月 18 日 指定面積：14,081.71㎡

AR用確認タイロ



IT型ガイダンスシステム

墳丘上に設置した AR マーカーに、専用タブレットを向けることによりジオビューシステムが作動し、古墳の仮想表示や説明を音声で聞くことができます。詳しくはお問い合わせください。
※AR=Augmented Reality の略。拡張現実。



問い合わせ先

大垣市教育委員会文化振興課

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内 2 丁目 55 番地 TEL.(0584) 47-8067 (直通)
ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp/>

史跡 昼飯大塚古墳

ひるいおつかこふん

The Historic Site Hirui-Otsuka Burial Mound



美濃最大の前方後円墳 昼飯大塚古墳

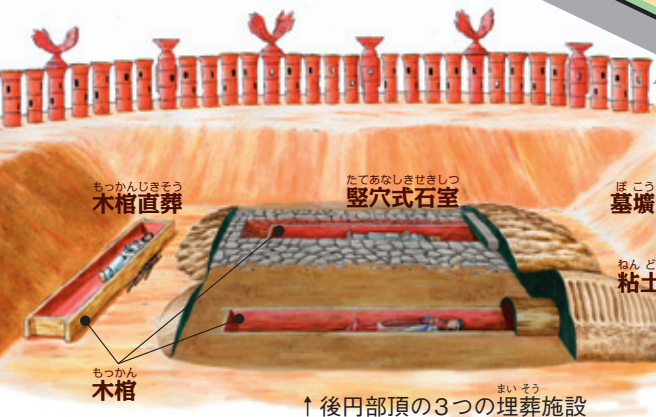
王が見た古代の風景が甦る——…



古墳の築造当時の姿を
復元したところですよ



ビューポイントからの眺め



- AR用確認タイル
- ➡ ビューポイント
築造後、約1600年もの時を経た
現在の姿が楽しめます
- ➡ ビューポイント
古墳の築造当時の
姿が楽しめます



ビューポイントからの眺め

墳丘の整備



削られたところに土を盛り、三段築成に整備
さん だん ちく せい

埴輪列の整備



↑ 発掘でみつかった埴輪列
復元した埴輪→



葺石の整備



↑ 後円部の発掘と整備
復元した葺石→

